

令和4年度 学校評価シート（青梅市立第一中学校）

<学校経営方針の重点> 1 学力向上 2 健全育成 3 心の教育 4 その他（教育活動を支える重点）

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者評価記入欄		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
1 学力の向上	生涯にわたって、学び続ける力をつけるために	●学習の質を高める授業づくり ●主体的・対話的で深い学びの追求	「授業PRカード」の観点を生かした授業研究の推進	A	授業の要点や各観点の評価などを意識できるツールとして、授業改善につながっている。反面、指導案の略案としては分かり難い面がある。	より効果的な活用を目指し、模範となるような事例を校内研修会で取り上げる。また、教育委員の要望を受け、状況により指導案の略案の作成を検討する。	A	●PRカードと指導案の違いが分かりづらい。 ●単元の目標達成に向けて前向きに取り組んでいると感じる。 ●3つの内言は、認識・確認に良い取り組みだと思います。 ●ICTについては、手探り中の部分もあると思う。活用で調べたことをそのまま自分の意見にしてしまう傾向があると思うが、いくつかの検索結果をまとめ、自分の意見に変える学びが進むと良いと感じる。 ●「主体的に取り組みなくなる課題の設定や発問の工夫」について、学習意欲や習熟度に課題のある生徒へのアプローチが重要である。	コロナ禍で授業を見ていただく機会がなかったことが残念でなりません。来年度は、初回の授業参観の際に、PRカードと指導案について説明します。また、ICT活用の研究を続け、情報の取り扱う学習指導にも力を入れたいと思います。更に、学習意欲や習熟度の違いに配慮した主体的な学び、発問の工夫を校内研修会の内容に取り上げます。
			単元指導計画の充実	B	年度初めに作成し、学期ごとに進捗状況を確認しながら、計画的に授業を進めている。	今後も単元の目標を達成するため、生徒の学習状況を踏まえながら、メリハリのある授業が行えるよう単元指導計画の改善に取り組む。			
			主体的に取り組みたくなる課題の設定と発問の工夫	B	学習内容を工夫し、主体的に取り組めるように教材開発を進めているが、毎回の授業でより多くの生徒が課題に興味を示したとは言えない。	各教科・教員のスキルアップが問われている。特に発問の工夫が大事である。校内研修会に講師を招聘し、研究を深めるとともに、教科部会を充実させる。			
			三つの内言「他に考え方はないか。分かりやすいか。本当にこれでよいか。」の育成	B	教室掲示により、生徒も意識できており、授業の振り返りで取り組んでいる。大切な内言なので、全教員が更に意識して教科指導に生かしていくべきである。	教室掲示は、貼りっ放しを避け、振り返りなど、内言を問う場面で黒板に掲示することが、より有効活用につながることも考える。校内研修会で十分に検討する。			
			ICTの効果的な活用と視覚化の工夫	A	ICT教育推進校としての実績もあり、授業など教育活動全般において有効活用が進んでいるが、生徒個人の活用については、工夫が必要である。	個別端末を利用した教材を工夫するなど生徒の使いこなせる力量を高めたい。そのためには、ICTの環境整備が必要なため、市教委への要望も積極的に行う。			
2 社会性の育成	安心して学び、自己有用感を高めるために	●支え合い、励まし合える人間関係を構築する力の育成 ●人権尊重教育の推進	生徒会活動の充実	B	3ない運動やSDGsへの取り組みなど生徒会本部を中心に各委員会が頑張っており取り組んでいる。一校とのあいさつ運動もよい取り組みである。	SDGsについては、本部主導で17の各項目を丁寧に説明する機会を設けるべきである。また、小学校とのあいさつ運動もより効果的になるよう再考する。	A	●ボランティア活動が活発になっていることは、素晴らしい。地域でも子供の参加が減少しているため、資源回収などに参加してくれると有難い。また、公園で遊んだ後は、ゴミ拾いを帰るなど日常生活にボランティア精神を生かせることが良い。 ●SDGsを生徒会活動に取り入れていることは素晴らしい。 ●情報モラルは、家庭の問題である。家庭と連携して利用の仕方について、意識を高める取組を続けてほしい。	ボランティア活動は、地域との懸け橋であり、自己有用感を高める取組なので、来年度も重点目標に据え、学校内外の活動を充実させていきます。また、SDGsへの取組を軌道に乗せるための対策を進めていきます。情報モラルは、これまで同様、家庭にも協力をお願い、粘り強く指導していきます。
			ボランティア活動の推進	A	ボランティア活動の機会を増やし、積極的に呼びかけたことで、活動に参加する生徒が増え、意識も高まった。活動内容を一瞥にし還元できるとより良い。	ボランティア活動の高まりをより確実な力とするため組織的な取り組みとして、システムを構築する必要がある。更に自己有用感を高めるための工夫をする。			
			情報モラルの育成	B	一中ルールを活用するなど、日頃から安全指導の場面を通して、SNSの利用への指導は行っているが、十分にできているかと言えば疑問が残る。	長期休業の直前や必要に応じて指導しているが、利用について見えない部分があり、常に不安である。重点項目を明確化し、年間予定との調整を図る。			
			いじめ対策委員会を基軸とした「いじめゼロ」の推進	A	毎週、SCを交え、「いじめ対策委員会」を行い情報交換や対応策の検討ができており、常にいじめが発生する可能性がある。	委員会を軸に組織的な対応はできているが、生徒会との連携を図るなど、より積極的な「いじめゼロ」への取り組みを行う。			
3 豊かな心の育成	広い視野と感性・想像力を高めるために	●多様性を尊重する心の育成 ●「言葉の力」を中核とした教育活動の推進	インクルーシブ教育の推進	B	共同体育や各行事で通常級と特別支援学級の交流を図ることはできたが、協力して課題解決に取り組む場面はつくれていない。また、校則によって、多様性が認められない部分がある。	G組との交流は、委員会活動も含めて、出来る範囲で行っていく。また、インクルーシブ教育における多様性と校則の関係については、時間をかけて協議する必要がある。	A	●悪いニュースを聞くと、道徳の授業が大事だと感じるため、人としての振る舞いを考えさせる機会を大切にしたい。 ●朝読書は浸透していると思うが、取り組まない生徒への指導はどうしているか。また、以前は、読書後に紹介文を書かせて、小論文など書く力を向上させていた。良い作品は学年だよりに掲載したり、ファイリングさせたりしていた。 ●生徒の意見も参考にしながら、尊重とひいきが混ざらない様に注意していただきたい。	道徳授業は、年に1回全教員が研究授業をしている。できるだけ話し合う場面を多く取り入れ、多様性について考える機会を作っている。今後も授業力を高めていきたい。朝読書は、今後も充実させるとともに、図書委員の活躍の機会を増やしていきたい。学級経営も多様性を念頭におき、生徒に向き合っていきます。
			道徳教育の充実	B	年間指導計画に基づき、全体的によく取り組んでいる。また、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れることもできた。	道徳授業を中心に全ての教育活動の場面において道徳教育の充実に取り組んでいるが、今後も人間としての生き方について考えを深める学習を進めていく。			
			朝読書の充実	A	全校生徒の取り組みとして、習慣化し落ち着いた雰囲気の良い時間を過ごせている。また、8時20分からの開始も守られている。	言語能力の向上を図りながら、一日が落ち着いた雰囲気スタートできる朝読書は、有意義な取り組みである。今後も継続していく。			
			「3ない運動」とSDGsの推進	B	生徒会がポスターを作成し発信してくれた効果もあり一人一人が身近なものとして取り組む雰囲気が出てきたが、まだまだ不十分である。	重点テーマを明らかにして、生徒と教員が共に学べる時間を設ける。また、3ない運動だけでなく、人としての振る舞いを考える機会をつくる。			
4 その他	教育活動を支えるために	●一中校区とのつながりの堅持 ●働き方改革の推進	PTA及び地域との連携の推進	B	PTAの皆様に御協力と御支援をいただき、連携を図りながら、一中の教育活動を進めることができており、地域との連携が不十分であった。	今後もPTAの皆様に応援していただける一中を目指し、連携を深めていく。また、コロナ禍で希薄となりつつある地域との絆を積極的に回復する。	A	●働き方改革は学校内で解決できる問題ではない気がする。先生方の心と体のケアが重要である。他業種と比較や交流を図るなどして前に進めてほしい。 ●PTA活動に参加しやすいメニューの見直しも必要と思う。 ●ボランティア活動には感謝している。大祭後の清掃活動を実施してくれると助かります。	改革が具体化しているものもあるので、今後も広く情報を集め教育の質を落とさずに進めます。コロナ後のPTA活動のあり方も検討します。青梅大祭の翌日のクリーン活動は実施いたします。
			教育の質を落とさない働き方改革の推進	B	具体的に削減された校務がほとんどなく、常にギリギリの状態でごなしている感じがある。今の現状では、とても厳しい。	簡素化できる行事を探し、教育課程に工夫をこらす。教職員の多くの視点から「働き方改革」ができる事柄や方法を提案し合い検討する。			
			研修（研究と修養）の充実	B	校内での若手教員の研修が充実できた。また、教職員が個々の能力を生かしながら、教育活動を展開している。反面、校内研修が多すぎる感じもある。	研修が有意義なのは言うまでもないが、担当者が準備などに費やす時間が多すぎる部分もある。働き方改革もあり、精査していく必要がある。			